

III 津波対策

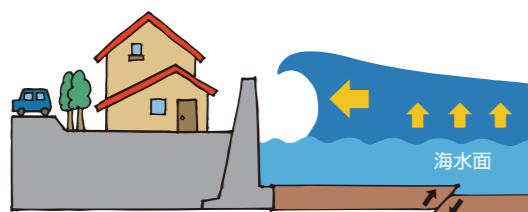
1 津波に備える

東京湾内湾は地形上大きな津波は発生しにくく、防潮堤や水門があるため一定の安全は確保されています。しかし、想定外に対応することが、東日本大震災の教訓です。津波が発生したときに適切な避難ができるように、日頃から準備をしておきましょう。家庭だけでなく、地域で津波について話し合う機会を設け、津波に対する準備をしておきましょう。

津波と高潮の違い

津波とは？

地震(地殻変動)が発生原因です。
海面が上昇し、巨大な波が襲ってきます。



地震(地殻変動)

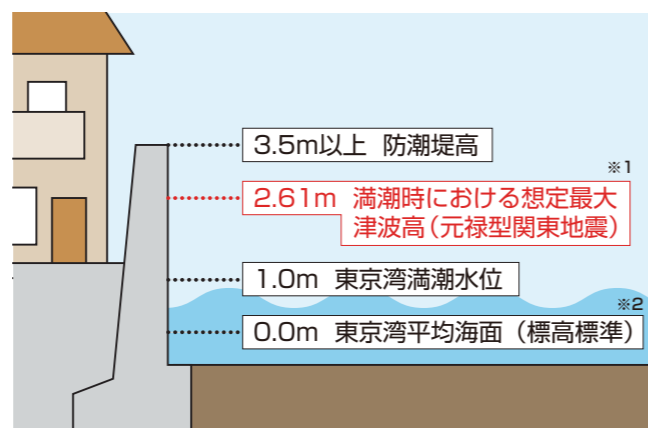
高潮とは？

台風(低気圧)が発生原因です。
海面が引っ張られ、
水位が異常に上昇します。



●品川区の海沿いには防潮堤(海拔3.5m以上)と水門が整備されています。

水門位置と防潮堤の整備高



※1 東京都が公表した新たな津波想定(平成24年4月)のうち品川区に到達する最大の津波の高さ。

※2 東京湾では海拔と標高は同じ位を示します。

わが家での津波対策

津波が発生したときに適切な避難ができるように、事前に津波自主避難マップを作り、日頃から準備をしておきましょう。

津波自主避難マップとは

品川区独自の津波ハザードマップで、

いざというときにすぐ行動がとれるよう、
各個人で作成する**マイマップ**です。

津波自主避難マップの作り方

- ①出発地と目標地(高台や高い建物)を決めましょう。
- ②目標地までの避難ルートを考えましょう。
- ③決めたルートを実際に歩いて危険な場所がないか確認しましょう。
- ④歩いた後に情報を補足しましょう。



東京都都市整備局及び(株)ミッドマップ東京の承認を得て、東京都縮尺1/2,500地形図(平成23年度版)を背景図として使用しております。(MMT利許第23019号-64、27都市基交測第120号)また、データの複製を禁じます。

地図や作り方のマニュアルは、区のホームページまたは河川下水道課窓口で入手できます。